



創作劇『江川坦庵公 夜は明け我は今翔ぶ』



高校生ステージ



アマチュア劇団ステージ

演劇



プロステージ

葦山時代劇場大ホールで、10月24日に『アマチュア劇団ステージ』、11月8日に『高校生ステージ』を上演。
またアクシスかつらぎ大ホールで、11月1日に『江川坦庵公 夜は明け我は今翔ぶ』、11月5日に『プロステージ が~まるちょばサイレントコメディ』を上演。延べ3,100人以上の観客を動員しました。

葦山時代劇場大ホールで、10月25日に『文化財クローズアップ 江川坦庵の魅力を知る』を、11月1日に『近代化産業遺産群シンポジウム(詳細は次ページ)』を開催。

また10月25日、11月1日に『歴史ガイドツアー』を開催しました。

ボランティアなど169人も含め、延べ8,700人以上が参加しました。

歴史



歴史ガイドツアー



文化財クローズアップ



近代化産業遺産群シンポジウム

プレイバック！
国文祭



昨年十月二十四日から十一月八日まで開催した、『第二十四回国民文化祭・しずおか2009 in 伊豆の国』。ご参加・ご協力いただいた市民の皆さん、ありがとうございました。

問合せ 文化振興課
電話 055(948)0225



国民文化祭応援イベントの数々



葦山郷土史料館企画展 坦庵～江川太郎左衛門英龍の実像 (3月2日まで開催中！)



秋のパン祖のパン祭り (10月24・25日)



近代化産業遺産群サミット 参加自治体観光物産フェア(11月1日)



温泉まんじゅう祭り (11月3日)



葦山竹灯籠まつり (11月7日)



消防フェスタ (11月8日)

文学



10月24日、25日にアクシスかつらぎ多目的ホールで『湯けむり映画祭in伊豆長岡』を開催。『山のあなた』『伊豆の踊子』などの映画を上映し、2日間で約1,500人の観客を動員しました。



湯けむり映画祭in伊豆長岡



江川太郎左衛門～熱き心の火～

オペラ



10月24日、25日にアクシスかつらぎ大ホールで創作オペラ『江川太郎左衛門～熱き心の火～』を開催。『市民オペラ伊豆の国』160人が出演し、2日間で1,500人以上の観客を動員しました。

伊豆の国市イベント
開催レポート！



ふじのくに 高まる広がる 文化の波
第24回国民文化祭
しずおか2009
平成21年10月24日(土)→11月8日(日)



下駄ダンスコンテスト

10月26日～30日と、11月2日～6日に、三養荘で『華の舞 芸妓まつり』を開催し、2週間で900人以上の観客を動員しました。また、11月3日にはアクシスかつらぎ大ホールで『下駄ダンスコンテスト』を開催し、120人以上が参加し、約730人が来場しました。

温泉



華の舞 芸妓まつり



合唱

11月7日、8日にアクシスかつらぎ大ホールで、『合唱の祭典』を開催。総勢230人の『第24回国民文化祭記念合唱団「伊豆の国」』による『瑠璃色の空の下で』『水脈速み』が披露され、2日間で延べ4,300人以上が参加しました。





江川邸・表門にて

原風景



石踊政昭教育長

鹿児島市では、ウォーキングコースを作って産業遺産群を観光資源として活用します。近代日本の原風景、維新の街・鹿児島づくりを進め、世界遺産登録を目指したまちづくりに取り組みます。

朝夕七色に姿を変える桜島。その悠久の火山活動が生み出した山並みと静かな錦江湾が美しいまち。

鹿児島市
(鹿児島県)

鑄銭事業



深浦卓二副町長

幕末の薩摩藩主・島津斉彬が近代産業を興すために鑄銭事業(資金づくり)を進めたように、加治木町もこれから近代化産業遺産を活用していくにあたり、財源づくりをがんばらなければいけないと思います。

目の前に噴煙たなびく雄大な桜島と銀鱗に光る錦江湾を臨む気候温暖で風光明媚なまち。

加治木町
(鹿児島県)

ネットワーク



栗原裕康市長

東海道の要衝として、また西伊豆の玄関口として、古くから政治、経済、文化の中心を担うまち。

沼津市
(静岡県)

日本近代化のストーリー



野村興児市長

江戸時代の街なみや歴史的景観が残る街。吉田松陰ら近代日本の夜明けを告げた人々の出身地。

萩市
(山口県)

数多くある歴史的遺産にはそれぞれに、先人の血と汗の壮烈な物語があります。そういった日本近代化のストーリーを、訪れてくれた人たちにちゃんと語れるようにしなくてはならないと思います。

価値の発信



智多正信副市長

長崎市には、観光客が市民ガイドの案内で市内をさるく(歩く)『長崎さるく』という観光企画があります。自治体のもつ魅力や価値を、まずは市民が発見し、市外に発信していくことが重要です。

長崎市
(長崎県)

鎖国時代には西洋に開かれた唯一の窓口として、人、物など多様な文化が交流したまち。



蘆山反射炉にて



プレイバック!
国文祭②

ストップ・ザ・な～んもなか



大西憲治副市長

佐賀市には、バルーンフェスタや佐賀のりなど、実はいろんないい資源がある。幕末・明治の歴史遺産もその一つ。それらを活用して、な～んもなか(何もなし)を押しよ～くしていきましょう。

佐賀市
(佐賀県)

風光明媚な自然とロマンあふれる名所旧跡を数多く有する佐賀県の県都。

もっと調査と研究



末竹健志副市長

佐世保市には、旧海軍施設(赤レンガ倉庫など)があり、一部を音楽堂などとして活用しています。遺産に関する調査と研究を深め、市民の皆さんに喜んでもらえるような活用をすることが大事です。

佐世保市
(長崎県)

明治22年に日本海軍の軍港として開港し、昭和27年に米海軍基地が置かれたまち。

世界を見る目



小西雅徳郷土資料館長

町年寄として長崎の貿易を司っていた高島秋帆は、国防の大切さに気づき西洋砲術を行った。近代化産業遺産の情報をインターネットで発信し、見るだけでなく、実際に生で触れてほしいですね。

板橋区
(東京都)

精密機械を中心に工業が根付き、首都圏との交通至近性により大型団地も開発されたまち。

近代化産業遺産群サミット&開催

平成21年11月1日

近代化産業遺産群サミット宣言

日本の近代化は、海防を考えることから始まりました。それにまつわる様々な遺産は、激動の時代を乗り越えてきた我々、日本人の知恵と創造の産物です。これら先人の知の遺産を活かし、人々に伝えていくことは、私たちの責務であると考えます。そこで、これを世に広め、まちづくりや地域振興に活かしていくために、次のことを宣言します。

- 一、近代化産業遺産やこれらにまつわる歴史をもつ自治体同士が、連携し、情報を発信していきます。
- 一、近代化産業遺産やこれらにまつわる歴史をもつ自治体同士が、連携し、人的・物的交流を深め、遺産を守り活用した新たなまちづくり・地域振興を行います。

平成21年11月1日

近代化産業遺産群サミット開催地代表

伊豆の国市長 望月良和

歴史的遺産に学べ



望月良和市長

伊豆・駿河・相模・武蔵・甲斐を治めた名代官、江川太郎左衛門のおひざ元。

伊豆の国市
(静岡県)

大人はもちろんですが、小学生や中学生が江川坦庵の功績や当時の歴史的背景などを勉強しながら、青雲の志を持ってくれる。そんな次世代の人材育成ができるまちづくりを目指したいと思います。

歩いて楽しい街づくり



石井直樹市長

下田市は、なまこ壁や伊豆石の建物などが残り、町中に歴史的な魅力が詰まっています。市民が楽しく手軽に参加できる、歩いて楽しいまちづくりを目指していきたいと思っています。

下田市
(静岡県)

ペリーの黒船来航など日本開国の表舞台として、歴史にその名を残すまち。

サミット宣言



江川邸・書院にて